



第4回 みえ森林教育シンポジウム

<メインテーマ>

未来の森林と暮らしのために、私たちが今できること
～ 知ってほしい 森のこと 木のことを～

日時：2026年1月31日(土) 9:30～16:30

場所：スズカト（三重県立鈴鹿青少年センター）

※お車でお越しの方は、スズカト駐車場、または、ダイセーフォレストパーク第2駐車場をご利用ください。
※会場付近には飲食店やコンビニ等はありません。昼食等は各自ご持参ください。

主催：三重県

<参加対象>

- ・幼稚園や保育園、こども園の先生
 - ・小中学校、高校等の先生
 - ・保護者の方
 - ・森林教育指導者の方 など
- 森や木に関心のある方であれば、どなたでも参加できます!!

～プログラム概要～

<9:30～12:00> 第1部ワークショップ

- 幼児教育・保育セッション
テーマ：森とつながる原体験
- 学校教育セッション
テーマ：森や木に関わる機会づくり

<13:00～16:30> 第2部ステージイベント

- 第12回みえの森フォトコンテスト表彰式
- トークセッション
テーマ：持続可能な社会の実現と森林
～知ってほしい 森のこと 木のことを～



昨年度ワークショップ



昨年度トークセッション

昨年度参加者の声

自然の中での活動が子どもの育ちに大切であることを改めて感じ、同じ志の方々とお話することで自分自身の意識も高まりました。

【ワークショップ参加者】

様々な方が、子どもと森林の繋がりを意識した活動をされていることを知りました。小学校での主体的な学びの事例など、大変興味深いものでした。

【トークセッション参加者】

イベントの詳細
及び参加申込は
こちらから⇒
(参加費無料)



<開催趣旨>

持続可能な社会の実現に向けて、私たちの暮らしを支える森林をいかに健全な状態で次世代に引き継いでいくかが、社会全体の重要な課題となっています。こうした中、子どもたちが森や木に触れる機会を数多く提供するとともに、森のこと、木のことについて、より深い学びを得るために私たちができることを考えます。

【お問い合わせ先】 三重県林業研究所普及・森林教育課

電話 059-262-5352 FAX 059-262-0960

メール miefa2@pref.mie.lg.jp



みえ森と緑の県民税

この取組には「みえ森と緑の県民税」が活用されています。

プログラム

※第1部、第2部ともに事前申込が必要ですので、参加申込フォームよりお申し込みください。
募集定員になり次第、募集を締め切ります。

<第1部 ワークショップ> [3F 大研修室、中研修室]

幼児教育・保育セッション 定員：50名【先着順】

時間：9:30～12:00

会場：3F 大研修室

テーマ：森とつながる原体験

<モデレーター>

宮里 暁美氏（お茶の水女子大学 特任教授）



文京区立お茶の水女子大学こども園園長等を経て、2021年4月よりお茶の水女子大学アカデミック・プロダクション寄付講座教授。子どもたちのごくそばで過ごしながら、子どもたちの小さな動きに目をとめ、保育について思いをめぐらしている。

<アドバイザー>

嘉成 永慈氏（森の風こども園 副園長、森の風しぜん学校 代表）

歩きはじめた子どもが初めて出会う自然とのふれあいには、驚きと楽しさがいっぱいです。子どもの五感を育むこの貴重なチャンスを日々の暮らしの中で見つけていますか。幼児期のこの瞬間にしかできない原体験について、参加者の皆さんとともに語り合います。

<参加対象>

- ・幼稚園や保育園、こども園の先生
- ・保護者の方
- ・森林教育指導者の方 など

学校教育セッション 定員：50名【先着順】

時間：9:30～12:00

会場：3F 中研修室

テーマ：森や木に関わる機会づくり

<モデレーター>

佐藤 洋氏（山梨県都留市ネイチャーセンター博物館 学芸員）



県内外の幼児期や青年期の子どもたちを森に招き入れ、年齢や課題にあわせた「生きる力」を育むプログラムを展開。森や木々の見立てから伐採、搬出、製材など、プロセス重視の活動を得意とする。教職員など大人向けの研修も幅広く企画・実践している。

<アドバイザー>

高田 研氏（一般社団法人地球温暖化防止全国ネット 理事長）

森林や木に触れる体験活動は、子どもたちの主体的・対話的な学びをサポートしてくれます。このような機会をより多くの子どものために届けていくため、それぞれの立場で何ができるかを、県内外の事例もふまえながら、参加者の皆さんとともに考えます。

<参加対象>

- ・小中学校、高校等の先生
- ・保護者の方
- ・森林教育指導者の方 など

<第2部 ステージイベント> [1F 総合研修館]

表彰式、トークセッション 定員：300名【先着順】

13:00～ 開会

13:05～ 第12回みえの森フォトコンテスト表彰式

13:25～ トークセッション

『持続可能な社会の実現と森林 ～知ってほしい森のこと 木のことを～』

〔13:25～14:35 プレトーク（パネリストによるプレゼンテーション）〕

〔14:50～16:20 トークセッション（パネリストによるトーク、会場との意見交換）〕

<コーディネーター> 長野 麻子氏（株式会社モリアゲ 代表）



東京大学文学部フランス文学科卒、1994年に農林水産省に入省。2018年から3年間、林野庁木材利用課長として「ウッド・チェンジ」を各地で呼び続ける。豊かな森を次代につなぐことを勝手に天命と感じ、2022年6月に早期退職。同年8月に日本の森を盛り上げる株式会社モリアゲを設立し、森林業コンサルタントとして全国の森をモリアゲ中。

<パネリスト>

小林 謙一氏（岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 森林環境教育専攻）



約20年間、東京で映像制作(CG)にプロデューサー、ディレクターとして携わる。40歳で岐阜県立森林文化アカデミーに入学。在学中に、岐阜県郡上市の移住促進業務に従事。都市部から地方に人を呼び込むプログラムを市と連携して企画・実施。2022年4月から現職。

百瀬 則子氏（一般社団法人中部SDGs推進センター 副代表理事）



2001年よりユニー(株)の環境・社会貢献担当を務め、食品リサイクル等に取り組む。2019年に(一社)中部SDGs推進センターを立ち上げ、SDGsに関する啓発活動を実施。同時にワタミ(株)のSDGs推進本部長として持続可能な社会の構築をめざし、森林保全活動等に取り組んでいる。

堀内 楓子氏（叶林業合名会社、LEAFローカルインストラクター）



2012年に家業である叶林業合名会社（松阪市飯高町）に就業。2016年より松阪市内の小中学校を中心に森林散策、出前授業、クラフト等、幅広く森林教育に取り組む。五感を使って体験することを大切に、森林や木に親しみを感じてもらえるよう内容を工夫している。

<参加対象>

- ・幼稚園や保育園、こども園の先生
 - ・小中学校、高校等の先生
 - ・保護者の方
 - ・森林教育指導者の方 など
- 森や木に関心のある方であれば、どなたでも参加できます!!

持続可能な社会の実現に向けて、私たちの暮らしを支える森林をいかに健全な状態で次世代に引き継いでいくかが、社会全体の重要な課題となっています。

こうした中、子どもたちが森や木に触れる機会を数多く提供するとともに、森のこと、木のことについて、より深い学びを得るために私たちができることを考えます。

16:30 閉会

※トークセッション終了後、16:50から18:00まで総合研修館にて参加者交流会を行います（事前申込不要）。

